

# 令和3年度自主防災会長初任者研修会

## 次 第

日時：令和3年10月3日（日）

午後1時15分から午後2時35分まで

会場：長岡グランドホテル2階 悠久

### 1 開会

### 2 あいさつ

長岡市長 磯田 達伸

### 3 防災講演会（13:20～13:55）

テーマ：「風水害から命を守る～今日から取り組む自助・共助～」

講 師：新潟大学 教授 田村 圭子

### 4 基礎講習（14:00～14:35）

テーマ：「自主防災活動を進める上での基礎知識」

講 師：中越市民防災安全士会 会長 岸 和義

### 5 閉会

# 風水害から命を守る

～今日から取り組む自助・共助～

新潟大学危機管理本部

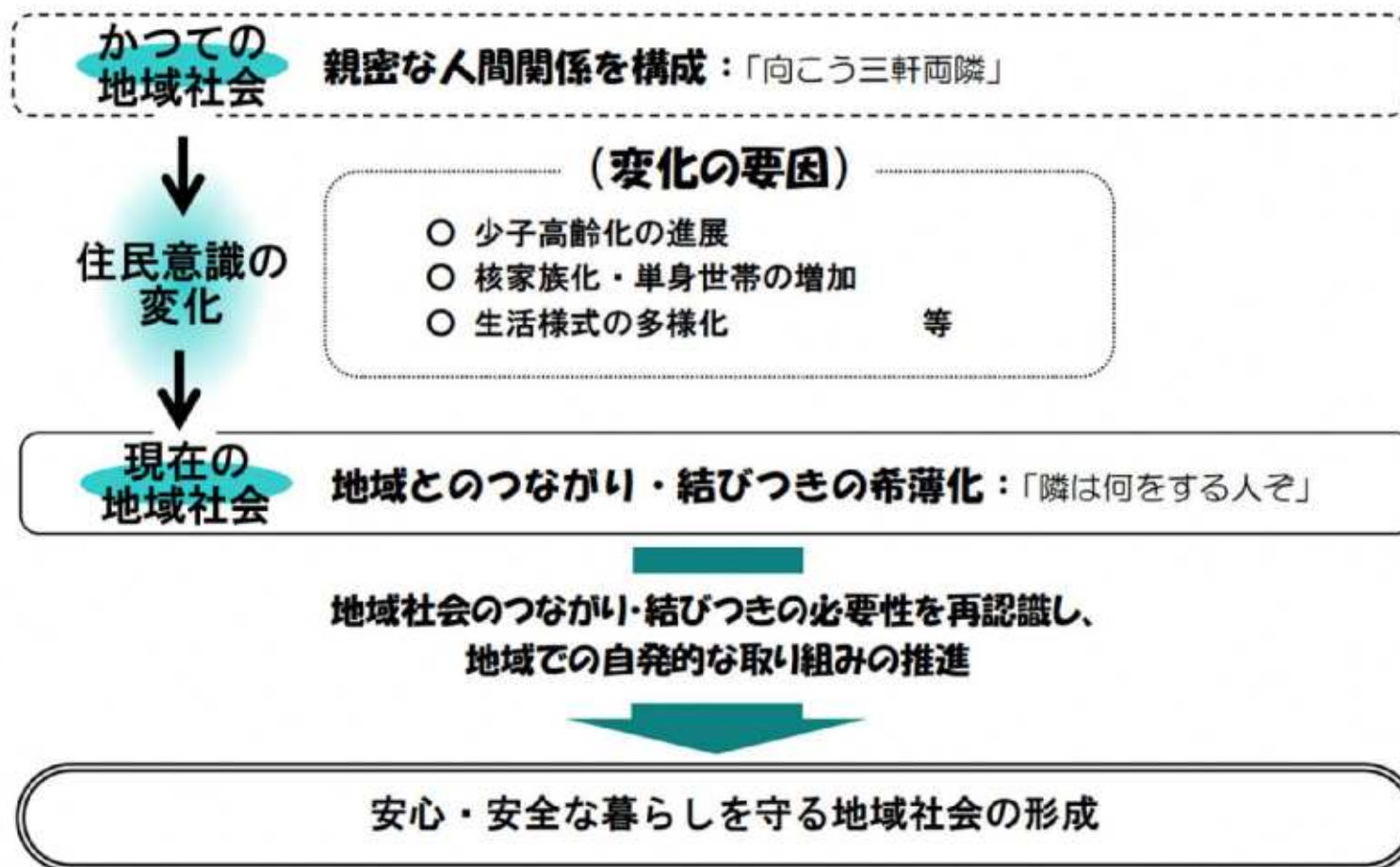
危機管理室

田村 圭子

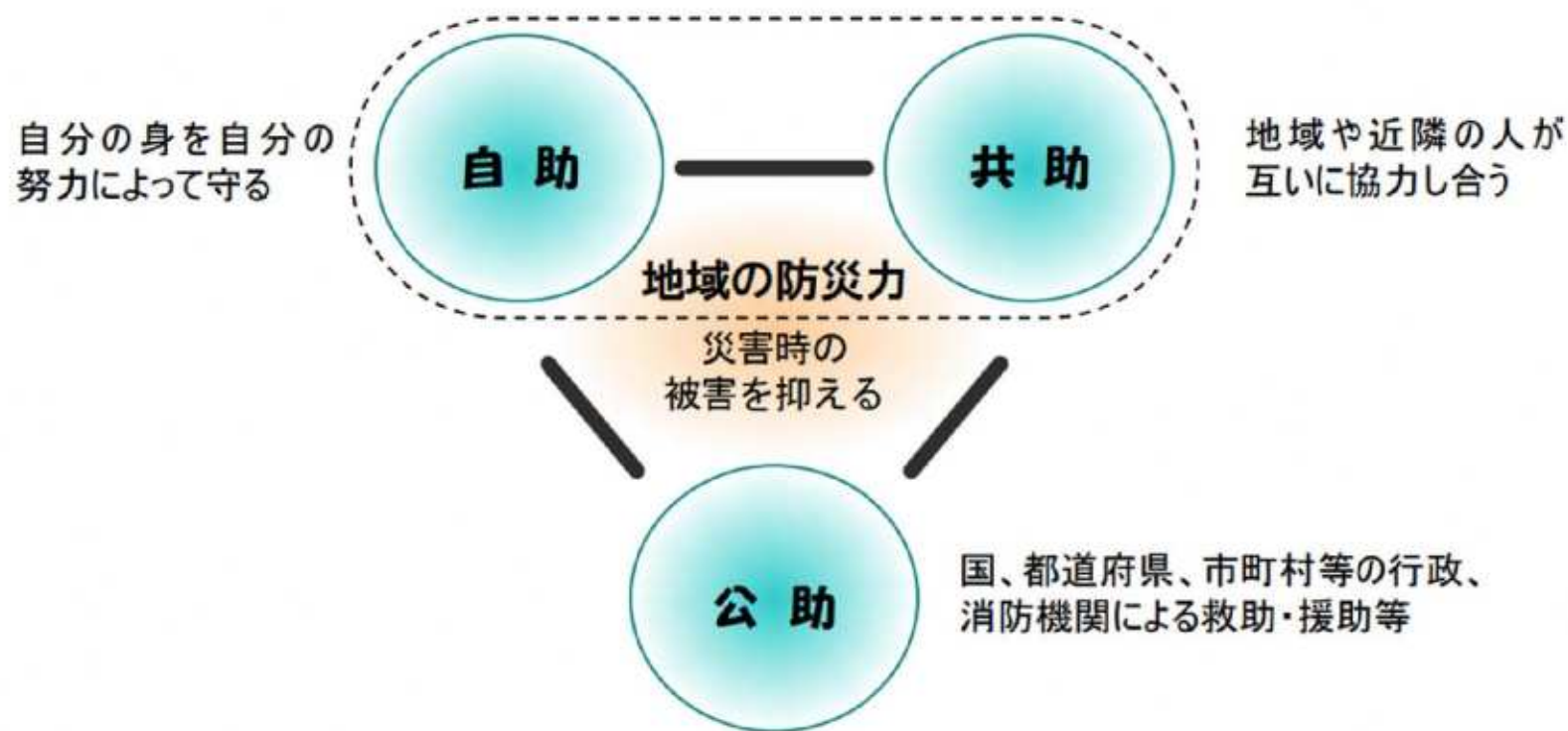
# 本日の概要

1. 自主防災組織の歴史的変遷
  - ・ 自主防災組織はいつ始まった？
2. 気象の極端化、気象災害の激甚化・広域化
  - ・ 最近の水害では何がおこってる？
3. 気象災害からの避難
  - ・ 水害のおそれがある時、いつ・どこへ逃げる？
4. 避難行動要支援者の避難
  - ・ 長岡市と協力して進めてほしいこと
5. まとめ

# 地域社会の変化



# 社会の役割分担



## 萌芽期(昭和30年代)

- ・ 防災基本計画にはじめて記載
- ・ 被災した住民の救援を能率的に処理するための受け皿となる組織

## 揺籃(ようらん)期(昭和40年代後半)

- ・ **S16**サンフェルナンド地震→大都市震災対策推進要綱を決定
- ・ 消防庁 防災業務計画にはじめて記載
- ・ 地域においても、初期消火、避難、救済、情報伝達等について、効率的な災害応急活動が確保されるよう体制の整備に努める
- ・ ①地震災害への対応、②都市部での災害対応を念頭に、③発災初期の組織的な対応、中心に活動。④町内会が組織化の主たる基盤として例示、⑥自主防災組織のモデル・活動の考え方を示す

以下の2つの参考文献を参考にとりまとめ

- ・ 「自主防災組織」その経緯と展望（黒田洋司 平成 11年地域安全学会論文報告集）
- ・ 消防庁, 自主防災組織の手引ーコミュニティと安心・安全なまちづくりー

## 伸展期(昭和50年代)

- 地震災害に限らず風水害等災害全般が視野に置かれるようになったこと。
- 地方においても自主防災組織が必要であることが明確になってきたこと
- **S15**「東海地震説」の発表、**S53**宮城県沖地震、**S57**長崎水害等の大規模災害
- 自主防災組織の組織化が進む。拠点や資機材の整備費用の助成、訓練時の事故に対する補償制度の創設といった環境整備も進んだ
- **S52**消防庁防災業務計画の修正では、自主防災組織の育成が公的機関の防災体制の整備と並んで位置づけられた
- **S55**自主防災組織のあり方について検討した報告書（自治省）**S57**自主防災組織の現況や課題を調査し総合的整備方策をまとめた報告書（消防庁）
- **S55**自主防災組織の数、活動状況等に関する全国的な統計調査が行われるようになった
- **S58**『改訂 自主防災組織の手引』

以下の2つの参考文献を参考にとりまとめ

- 「自主防災組織」その経緯と展望（黒田洋司 平成 11 年地域安全学会論文報告集） 6
- 消防庁, 自主防災組織の手引ーコミュニティと安心・安全なまちづくりー

# 再強化期 (阪神・淡路大震災以降)

- 平成7年12月の災害対策基本法改正では、「自主防災組織」という用語が初めて現れ、行政の責務のひとつとして自主防災組織の育成が明記されると
- 「住民は、自ら災害に備えるための手段を講ずるとともに、自発的な防災活動に参加する等防災に寄与するように努めなければならない」
- 防災基本計画、消防庁防災業務計画の改正においては、自主防災組織の育成強化のために今後行うべきことがより具体的に示された（リーダーの養成、指針や手引き書の作成等）。
- 自主防災組織の資機材や拠点の整備を促進するための国庫補助制度も創設
- 地方においては、「防災」と「福祉」を融合（非常時と平時を融合）する取り組み（神戸市）等新たな動きもみられる。

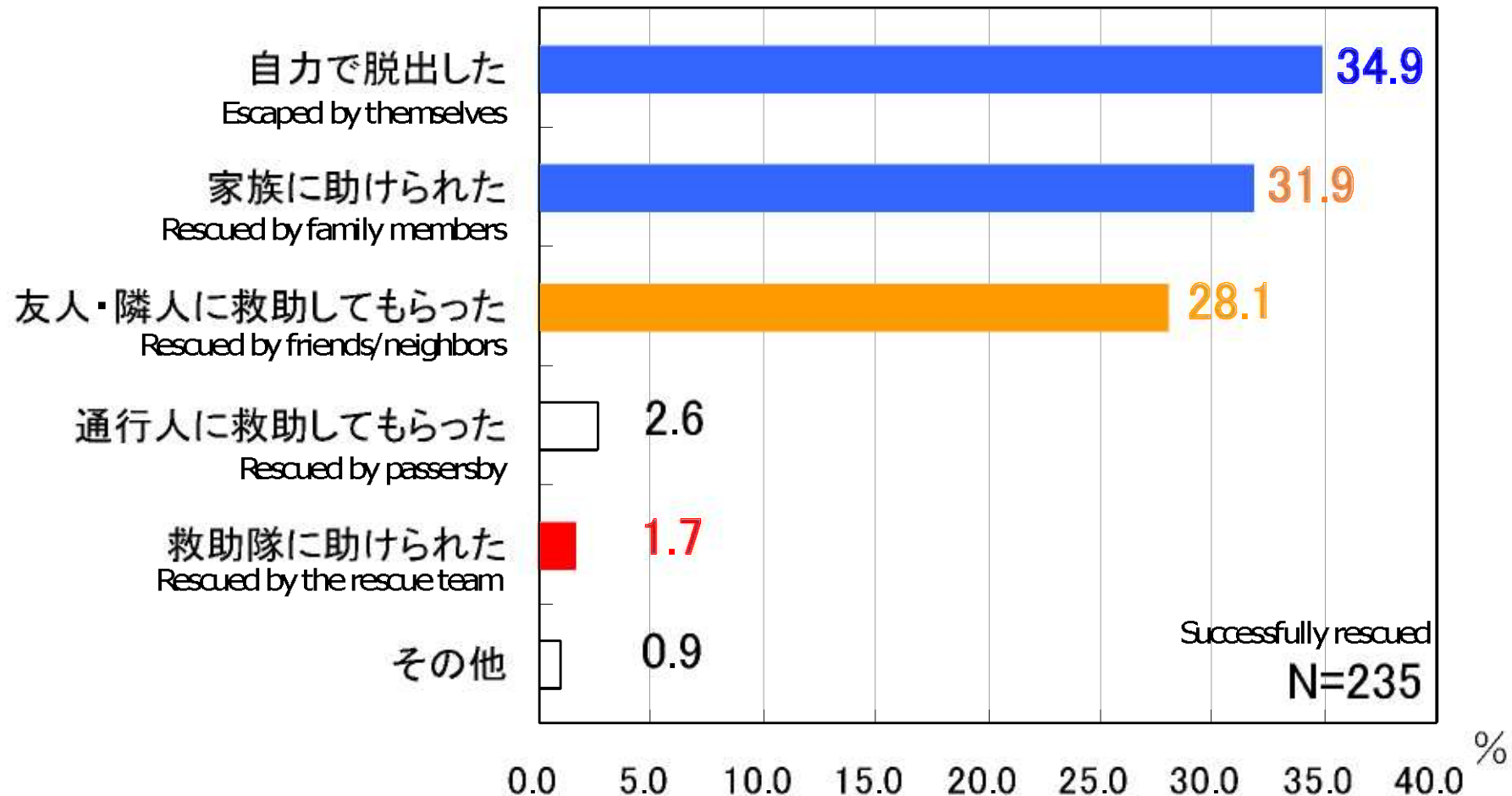
以下の2つの参考文献を参考にとりまとめ

- 「自主防災組織」その経緯と展望（黒田洋司 平成11年地域安全学会論文報告集）
- 消防庁, 自主防災組織の手引ーコミュニティと安心・安全なまちづくりー



# 生き埋め・閉じ込められた際の救助

The rescue the survivors of the trapped alive in the collapsed houses

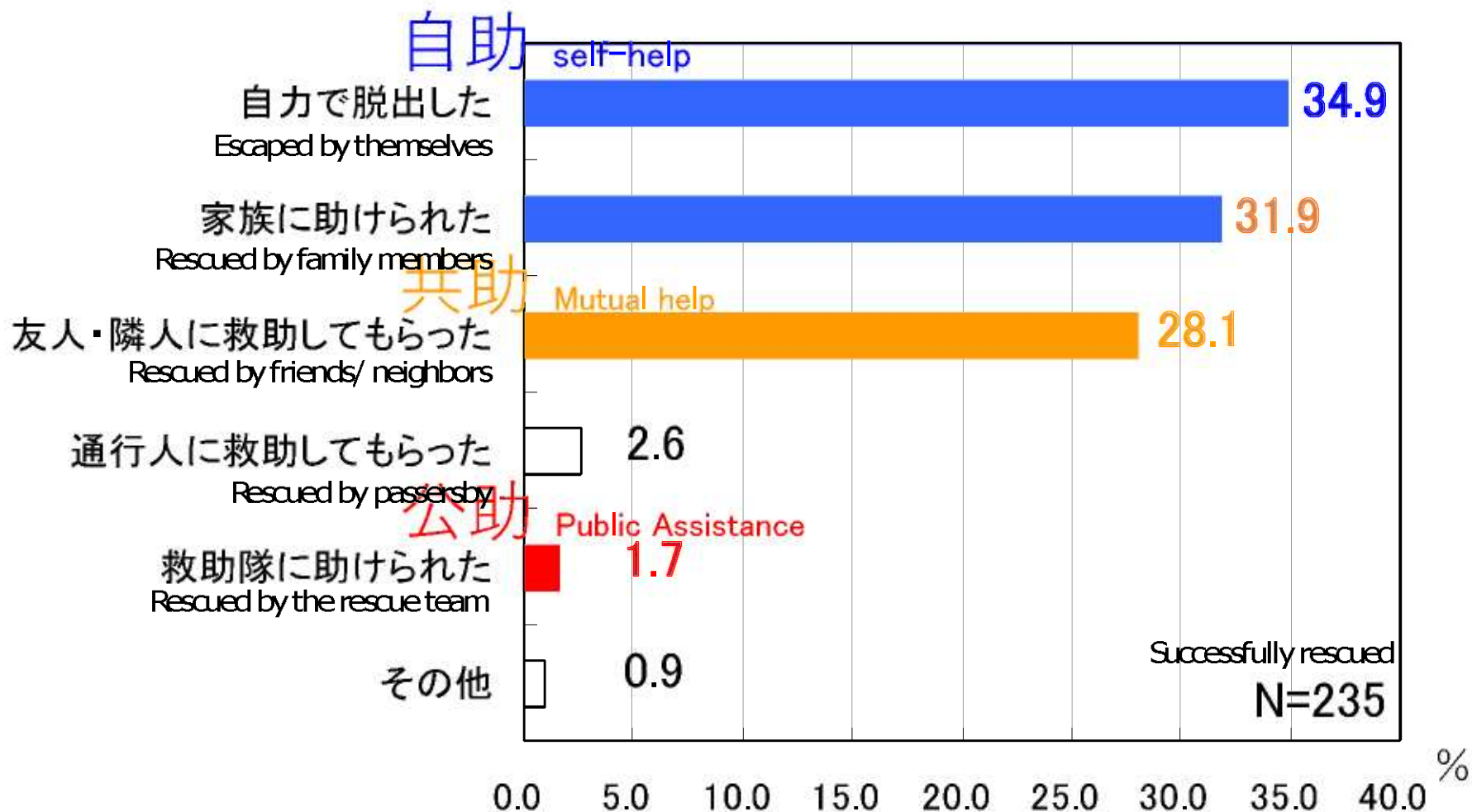


日本火災学会 (1996)

1995 Hanshi-Awaji EQ 阪神・淡路大震災の火災地域を対象に調査 <sup>8</sup>

# 生き埋め・閉じ込められた際の救助

The rescue the survivors of the trapped alive in the collapsed houses



日本火災学会 (1996)

1995 Hanshi-Awaji EQ 阪神・淡路大震災の火災地域を対象に調査 9

# 大規模水害の頻発・広域化①

## ・2019 令和元年台風第19号

(東日本台風)

### ●台風第19号による大雨と暴風

- ・静岡県や新潟県、関東甲信地方、東北地方を中心に広い範囲で記録的な大雨。
- ・13都県に大雨特別警報を発表。

10月10日から10月13日までの総降水量

神奈川県箱根で1001.5ミリ  
 静岡県湯ヶ島で760.0ミリ  
 埼玉県浦山で687.0ミリ  
 東京都小沢で649.0ミリ  
 宮城県筆甫で607.5ミリ  
 岩手県普代で467.0ミリ



北陸新幹線車両基地 浸水状況

### ●前線による大雨

- ・九州北部地方を中心に大雨。
- ・佐賀県、福岡県、長崎県に大雨特別警報を発表。

8月26日から8月29日までの総降水量

長崎県平戸で626.5ミリ  
 佐賀県唐津で533.0ミリ  
 福岡県久留米で408.0ミリ



川の流出状況 8月28日時点

### ●低気圧等による大雨

- ・千葉県や福島県を中心に大雨。

10月24日から10月26日までの総降水量

千葉県牛久で285.0ミリ  
 福島県浪江で251.5ミリ



▲千葉県成田市による河川氾濫(沼野地区河川)  
 総降水量(観音寺/10月27日) 1294.0mm

▲茨城県水戸市(水戸市東区)

▲茨城県水戸市の浸水被害(福島県郡山市)

### ●台風第15号による暴風と大雨

- ・伊豆諸島や千葉県を中心に暴風。
- ・東海地方や関東地方を中心に大雨。

9月7日から9月9日までの期間最大風速

東京都神津島で43.4メートル、千葉県千葉で35.9メートル

9月7日から9月9日までの総降水量

静岡県天城山で450.5ミリ、東京都大島で314.0ミリ

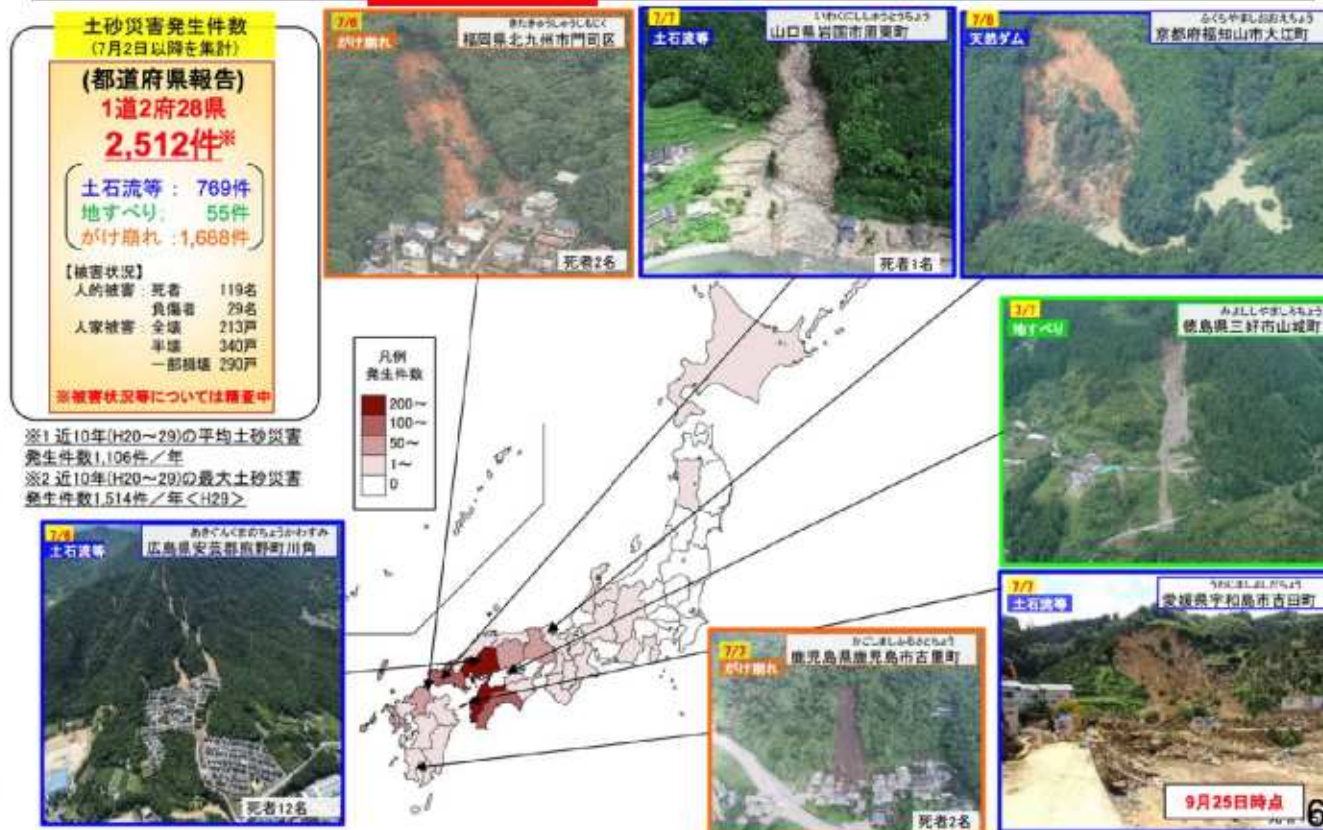


住宅の被害写真(飯沼町岩井地区)

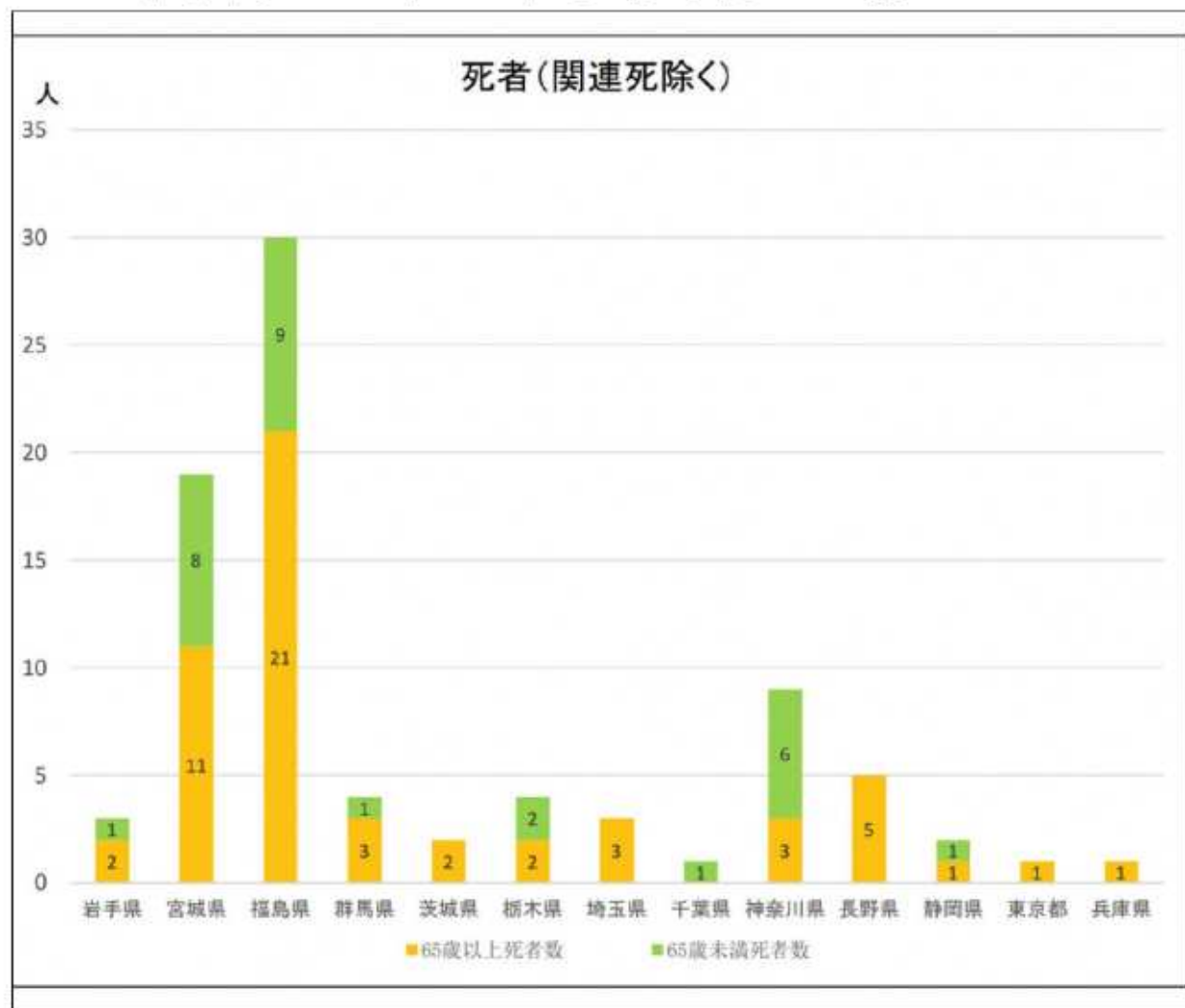
# 大規模水害の頻発・広域化②

## ・ 2018 平成30年 7月豪雨 ①

平成30年7月豪雨では **西日本を中心に、広域的かつ同時多発的に土砂災害が発生。**



## 2018 平成30年7月豪雨 ②



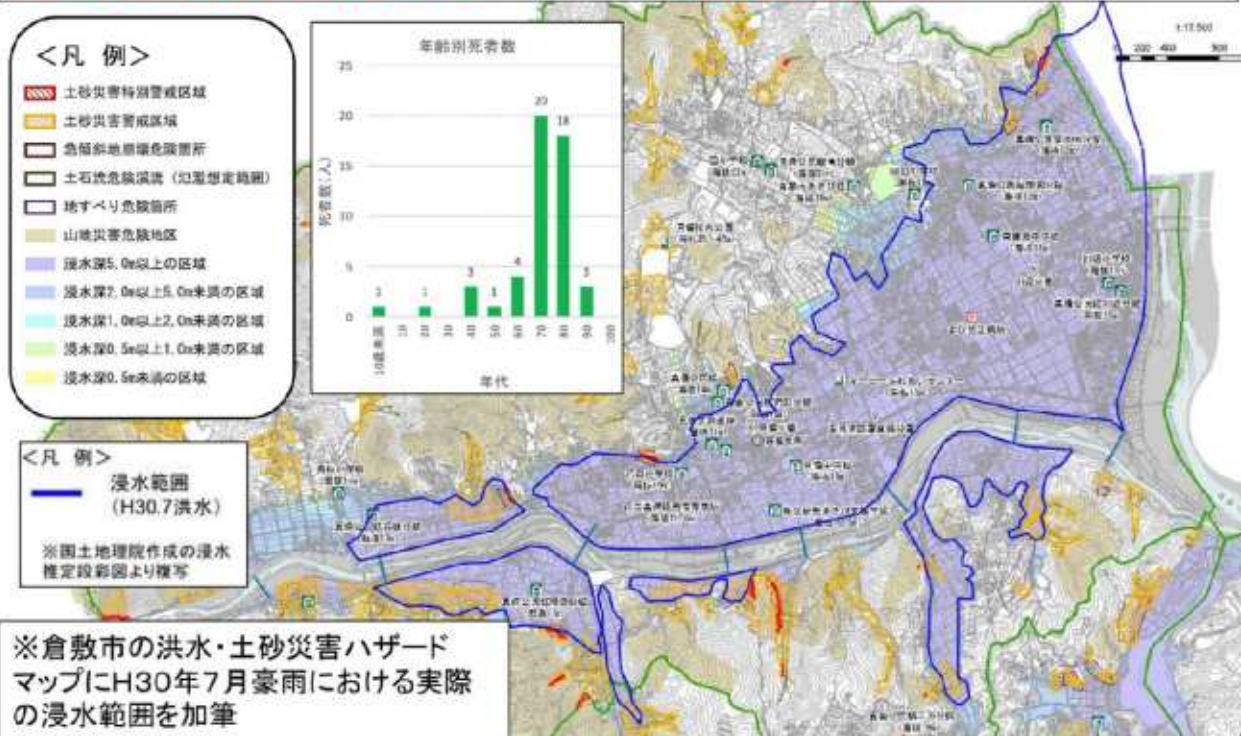
内閣府、台風第19号等の概要

# 避難行動要支援者の被災

## ・ 2018 平成30年 7 月豪雨 ③

国土交通省, 平成30年7月豪雨災害の概要と被害の特徴

小田川(倉敷市真備町)では、洪水浸水想定区域と実際の浸水範囲がほぼ一致にもかかわらず、51名が死亡。特に死者の約8割が70歳以上。



- ・ 42人 が避難行動要支援者であり、自分の力で避難できなかった人が犠牲に (岡山県、平成30年7月豪雨災害検証報告書)
- ・ 44人 が非流失家屋の屋内で被災 (岡山県「平成30年7月豪雨」災害検証委員会(第2回)追加提出資)

# 「おしえて！地球温暖化」

持続可能な未来をつくるには  
君の力が必要じゃ。  
さあ、一緒に行動しよう！

## ■ 豪雨の頻発、台風の強大化

- ・短時間強雨や大雨の増加に伴い、土砂災害・水害の発生頻度が増加

2017年の九州北部豪雨による被害  
福岡県東郷町の赤石川、小川内川、乙石河合流地点付近における洪水の被害(7月8日撮影)  
出典:国土交通省「平成29年7月九州北部豪雨による土砂災害の概要」(速報版)2018.01.17

ここ数年は大きな災害が多かったのう。  
これからも続くのかな？

・農地に不要な水が溜まる  
湛水被害の増加

集中豪雨による農地の湛水被害  
出典:農林水産省「気候変動適応計画(概要)」(2015)

## ■ 水供給（地表水）

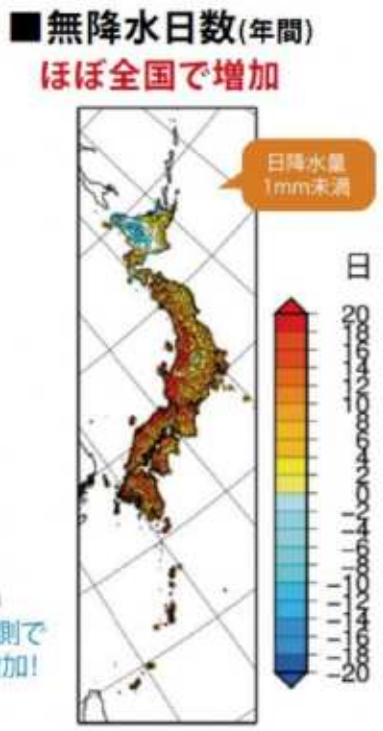
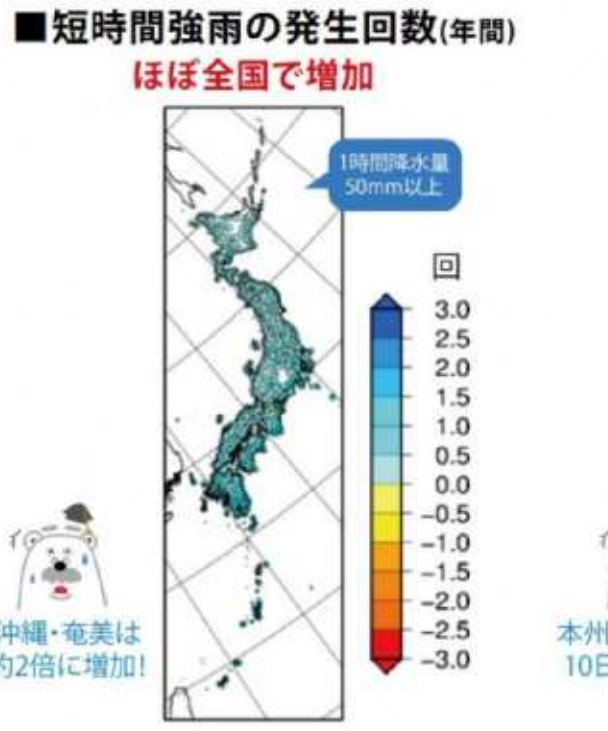
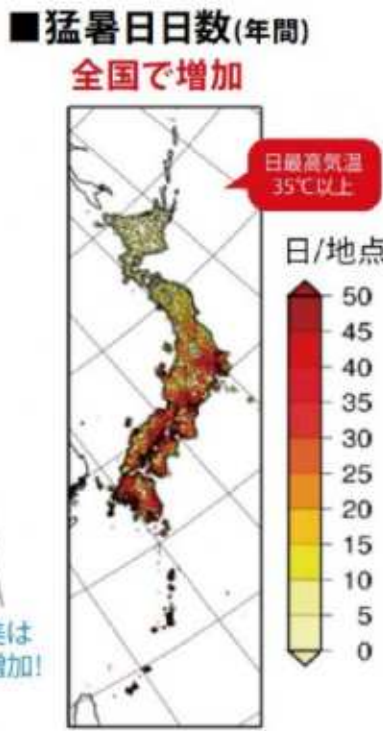
- ・激しい雨の回数は増える一方で、年間の降水の日数が減少

日降水量 1.0 mm 以上の年間日数の経年変化 (1901～2017年)  
出典:気象庁「気候変動監視レポート2017(2018)」

・渇水が発生し、毎年のように取水制限が行われている。

カラカラだね。

平成28年渇水時の矢水沢ダム(群馬県)  
出典:内閣府国土政策推進本部事務局「平成30年降水極端化調査(2018)」



## 水平避難



どこへ？

- ・ 浸水が想定される高さより高い場所



どこから？

- ・ 川のそば
- ・ 浸水が深い地域

どこへ？

- ・ 浸水が想定されていない地域

# どこへ逃げる？

どこから？

- ・ 川のそばではない家・ビルの1階



# ハザードマップの実際（長岡市の場合）

## •【和島・寺泊地域版】

- 01災害情報・避難活用情報①
- 02地図情報 信濃川①
- 03地図情報 信濃川②
- 04地図情報 島崎川
- 05地図情報 郷本川①
- 06地図情報 郷本川②
- 07地図情報 洗海川①
- 08地図情報 洗海川②・黒川
- 09災害情報・避難活用情報②

## •【三島・与板地域版】

- 01災害情報・避難活用情報①
- 02地図情報 信濃川①
- 03地図情報 信濃川②・黒川①
- 04地図情報 黒川②
- 05地図情報 小木城川
- 06地図情報 高瀬川・道満川①
- 07地図情報 道満川②・洗海川①
- 08地図情報 洗海川②
- 09災害情報・避難活用情報②

## •【中之島・栃尾地域版】

- 01災害情報・避難活用情報①
- 02地図情報 信濃川①
- 03地図情報 信濃川②
- 04地図情報 刈谷田川①
- 05地図情報 刈谷田川②
- 06地図情報 刈谷田川③
- 07地図情報 刈谷田川④・栢吉川
- 08地図情報 猿橋川①
- 09地図情報 猿橋川②
- 10地図情報 塩谷川
- 11災害情報・避難活用情報②

## •【長岡川西地域版】

- 01災害情報・避難活用情報①
- 02地図情報 信濃川①
- ※03地図情報 信濃川②
- 04地図情報 洗海川①
- 05地図情報 洗海川②
- ※06地図情報 洗海川③
- 07地図情報 黒川①
- 08地図情報 黒川②
- 09地図情報 黒川③・高瀬川①
- 10地図情報 高瀬川②
- 11地図情報 道満川①
- ※12地図情報 道満川②
- 13災害情報・避難活用情報②

## •【長岡川東地域版】

- 01災害情報・避難活用情報①
- 02地図情報 信濃川①
- ※03地図情報 信濃川②
- ※04地図情報 信濃川③
- 05地図情報 信濃川④・浄土川
- 06地図情報 刈谷田川①
- 07地図情報 刈谷田川②
- 08地図情報 猿橋川①
- 09地図情報 猿橋川②
- 10地図情報 稲葉川①
- 11地図情報 稲葉川②・栢川①
- ※12地図情報 栢川②
- ※13地図情報 太田川①
- ※14地図情報 太田川②
- 15地図情報 栢吉川①
- ※16地図情報 栢吉川②

## •【越路・小国・川口地域版】

- 01災害情報・避難活用情報①
- 02地図情報 信濃川
- 03地図情報 信濃川・魚野川
- ※04地図情報 洗海川①
- 05地図情報 洗海川②
- 06地図情報 洗海川③
- 07地図情報 洗海川④・嶋田川
- 08地図情報 須川・焼田川
- 09災害情報・避難活用情報②

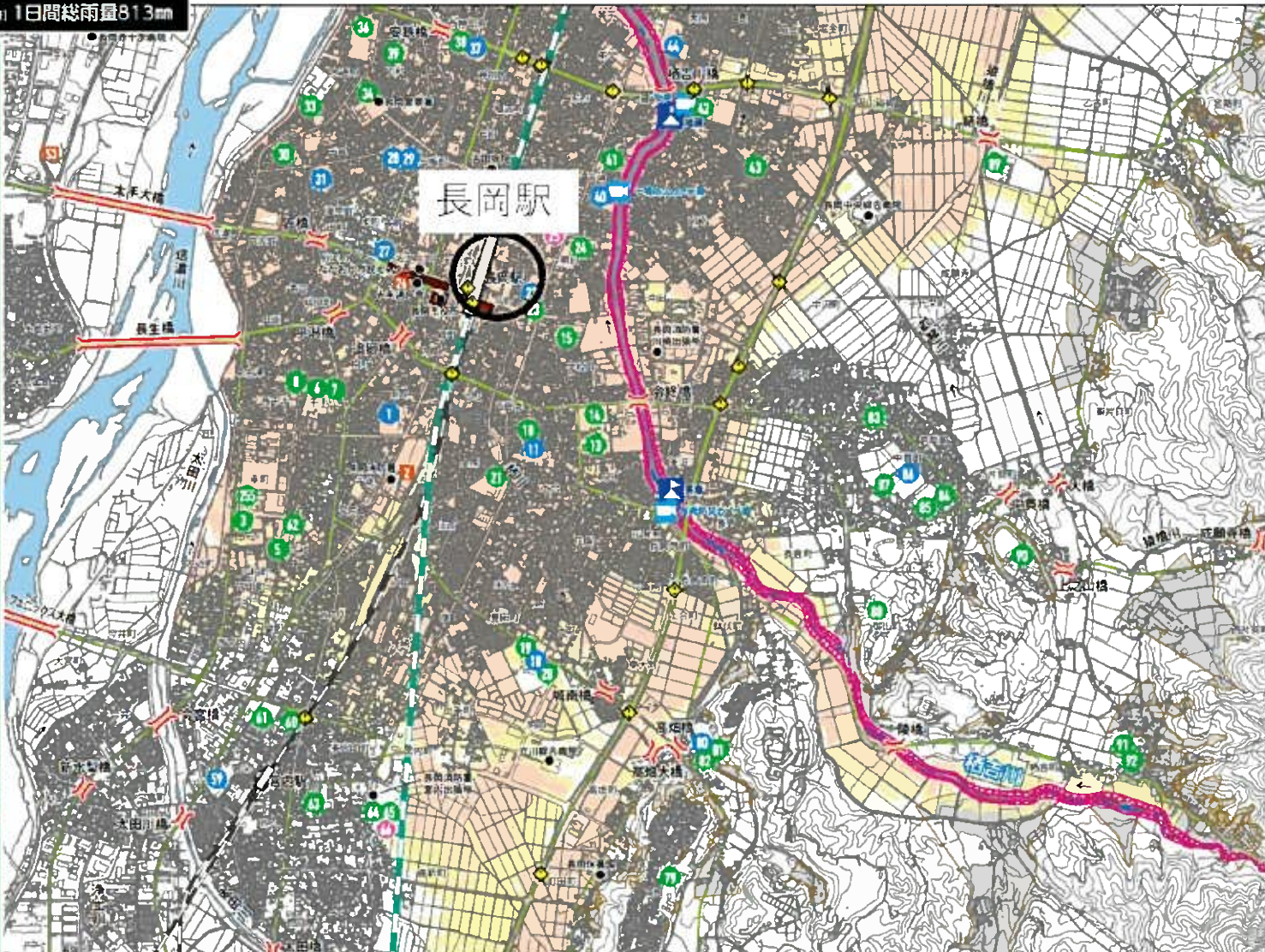
# ハザードマップを確認する(長岡市)

洪水ハザードマップ

【栖吉川②】長岡川(東)中

想定する降雨規模【想定最大規模】1日間総雨量813mm

避難場所一覧	エレベーター有	備考
1 南中学校	2階以上	2.43
2 千代田区立千代田南中学校	2階以上	1.12
3 長岡市立南中学校	2階以上	1.58
4 長岡市立南中学校	2階以上	1.66
5 千代田区立千代田南中学校	2階以上	2.05
6 千代田区立千代田南中学校	2階以上	1.70
7 千代田区立千代田南中学校	2階以上	2.07
8 千代田区立千代田南中学校	2階以上	1.78
9 千代田区立千代田南中学校	2階以上	1.95
10 長岡市立南中学校	2階以上	1.58
11 千代田区立千代田南中学校	2階以上	1.27
12 千代田区立千代田南中学校	2階以上	1.74
13 千代田区立千代田南中学校	2階以上	0.76
14 千代田区立千代田南中学校	2階以上	1.22
15 千代田区立千代田南中学校	2階以上	0.66
16 千代田区立千代田南中学校	2階以上	2.53
17 千代田区立千代田南中学校	2階以上	2.03
18 千代田区立千代田南中学校	2階以上	2.07
19 千代田区立千代田南中学校	2階以上	1.75
20 千代田区立千代田南中学校	2階以上	1.34
21 千代田区立千代田南中学校	2階以上	1.53
22 千代田区立千代田南中学校	2階以上	0.71
23 千代田区立千代田南中学校	2階以上	1.62
24 千代田区立千代田南中学校	2階以上	1.94
25 千代田区立千代田南中学校	2階以上	1.48
26 千代田区立千代田南中学校	2階以上	1.88
27 千代田区立千代田南中学校	2階以上	1.78
28 千代田区立千代田南中学校	2階以上	2.07
29 千代田区立千代田南中学校	2階以上	2.30
30 千代田区立千代田南中学校	2階以上	2.39
31 千代田区立千代田南中学校	2階以上	2.53
32 千代田区立千代田南中学校	2階以上	1.98
33 千代田区立千代田南中学校	2階以上	3.45
34 千代田区立千代田南中学校	2階以上	2.12
35 千代田区立千代田南中学校	2階以上	11.21
36 千代田区立千代田南中学校	2階以上	1.59
37 千代田区立千代田南中学校	2階以上	1.99
38 千代田区立千代田南中学校	○	○
39 千代田区立千代田南中学校	○	○
40 千代田区立千代田南中学校	○	○
41 千代田区立千代田南中学校	2階以上	1.35
42 千代田区立千代田南中学校	○	○
43 千代田区立千代田南中学校	○	○
44 千代田区立千代田南中学校	○	○
45 千代田区立千代田南中学校	○	○
46 千代田区立千代田南中学校	○	○
47 千代田区立千代田南中学校	○	○
48 千代田区立千代田南中学校	○	○
49 千代田区立千代田南中学校	○	○
50 千代田区立千代田南中学校	○	○
51 千代田区立千代田南中学校	○	○
52 千代田区立千代田南中学校	○	○
53 千代田区立千代田南中学校	○	○
54 千代田区立千代田南中学校	○	○
55 千代田区立千代田南中学校	○	○
56 千代田区立千代田南中学校	○	○
57 千代田区立千代田南中学校	○	○
58 千代田区立千代田南中学校	○	○
59 千代田区立千代田南中学校	○	○
60 千代田区立千代田南中学校	○	○
61 千代田区立千代田南中学校	○	○
62 千代田区立千代田南中学校	○	○
63 千代田区立千代田南中学校	○	○
64 千代田区立千代田南中学校	○	○
65 千代田区立千代田南中学校	○	○
66 千代田区立千代田南中学校	○	○
67 千代田区立千代田南中学校	○	○
68 千代田区立千代田南中学校	○	○
69 千代田区立千代田南中学校	○	○
70 千代田区立千代田南中学校	○	○
71 千代田区立千代田南中学校	○	○
72 千代田区立千代田南中学校	○	○
73 千代田区立千代田南中学校	○	○
74 千代田区立千代田南中学校	○	○
75 千代田区立千代田南中学校	○	○
76 千代田区立千代田南中学校	○	○
77 千代田区立千代田南中学校	○	○
78 千代田区立千代田南中学校	○	○
79 千代田区立千代田南中学校	○	○
80 千代田区立千代田南中学校	○	○
81 千代田区立千代田南中学校	○	○
82 千代田区立千代田南中学校	○	○
83 千代田区立千代田南中学校	○	○
84 千代田区立千代田南中学校	○	○
85 千代田区立千代田南中学校	○	○
86 千代田区立千代田南中学校	○	○
87 千代田区立千代田南中学校	○	○
88 千代田区立千代田南中学校	○	○
89 千代田区立千代田南中学校	○	○
90 千代田区立千代田南中学校	○	○
91 千代田区立千代田南中学校	○	○
92 千代田区立千代田南中学校	○	○
93 千代田区立千代田南中学校	○	○
94 千代田区立千代田南中学校	○	○
95 千代田区立千代田南中学校	○	○
96 千代田区立千代田南中学校	○	○
97 千代田区立千代田南中学校	○	○
98 千代田区立千代田南中学校	○	○
99 千代田区立千代田南中学校	○	○
100 千代田区立千代田南中学校	○	○



**凡例**  
 洪水浸水深： 0.5m未満 0.5~3.0m未満 3.0~5.0m未満 5.0~10.0m未満  
 家屋倒壊等氾濫想定区域： 河岸侵食(土地がけずられる) 土砂災害警戒区域

## 凡例

浸水深	家屋倒壊等氾濫想定区域
5.0m~10.0m未満	氾濫流
3.0m~5.0m未満	河岸浸食
0.5m~3.0m未満	↑ 上記の区域は、早期の立ち退き避難が必要です。
0.5m未満	
	過去の浸水実績(平成16・17年)
	重要水防箇所

### 土砂災害警戒区域

	土石流		急傾斜地の崩壊
	地すべり		特別警戒区域

### 施設・地図表記

	避難所(対水避難)		道路冠水想定箇所
	避難所、避難場所		高速道路
	水位観測所		国道
	河川ライブカメラ		主要地方道・県道
	水防倉庫		地域界(旧市町村界)
	ため池(農業用堤)		●1.3 主な地点の標高
	防災行政無線		

村上市ハザードマップ  
(学習面)

## 家屋倒壊等氾濫想定区域とは

家屋の倒壊・流失をもたらすような激しい流れが発生するおそれがある堤防沿いの地域を「家屋倒壊等氾濫想定区域」として設定してあります。この区域は、**早期の立ち退き避難が必要です!**

家屋倒壊等氾濫想定区域  
(氾濫流) と  
(河岸浸食) があります

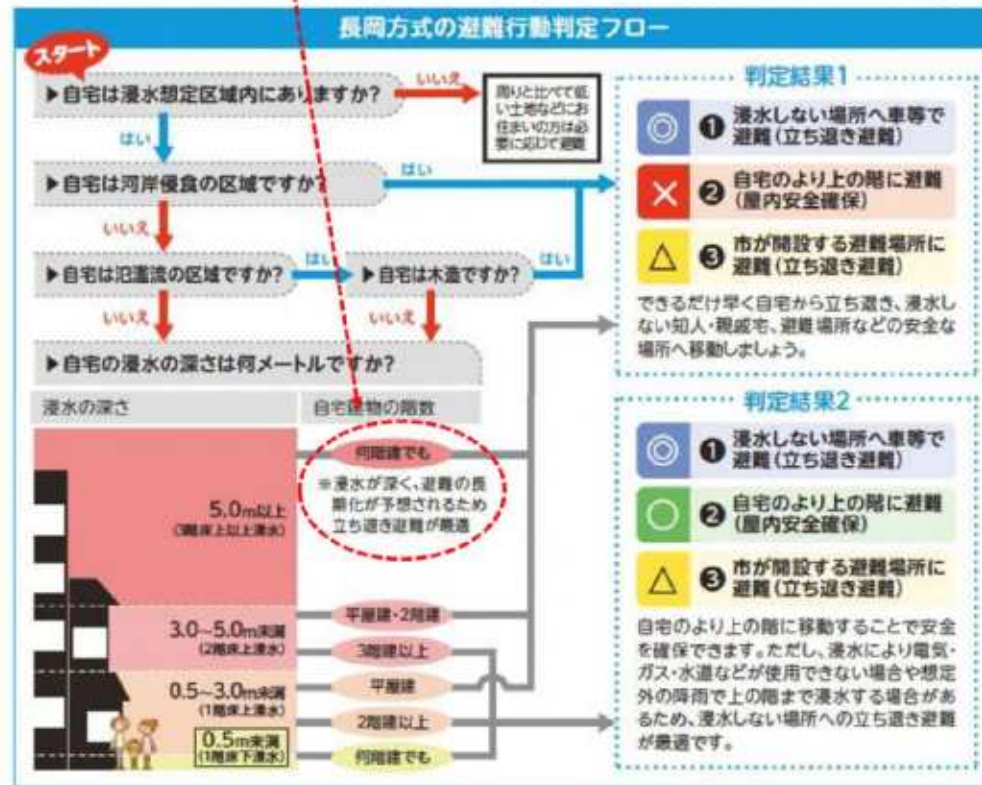


氾濫した洪水の流速が早く、木造家屋が倒壊する恐れのある区域



洪水の際に河岸が崩れて、家屋が倒壊する恐れのある区域

参考：五泉市ハザードマップ



長岡市ハザードマップ

# どこへ逃げる？（水平避難の場合）国土地理院, 避難所等の地図記号

## ○避難場所 ×避難所



### 緊急避難場所

- ・災害の危険から命を守るために緊急的に避難する場所
- ・屋外または屋内



## ○避難場所→避難所



### 緊急避難場所 兼 避難所

- ・緊急避難場所と避難所を兼ねている
- ・屋内

## ×避難場所 ○避難所



### 避難所

- ・災害の危険性があり避難した住民等が、災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在
- ・災害により自宅へ戻れなくなった住民等が一時的に滞在
- ・屋内

# 避難行動支援の場



## 緊急避難場所

- ・災害の危険から命を守るために緊急的に避難する場所
- ・屋外または屋内



総務省消防庁国民保護・防災部防災課長<sup>20</sup>  
災害種別図記号による避難場所表示の標準化の取組について

# どこへ逃げるか：分散避難



緊急避難場所



災害リスク低い  
親戚・友人宅

浸水が想定されていない  
/川から遠い



宿泊施設

浸水が想定されていない  
/川から遠い

## 福祉避難所は、避難者の受け入れ先になる



### 緊急避難場所

- ・災害の危険から命を守るために緊急的に避難する場所
- ・屋外または屋内

## 避難行動ならびに生活支援の場



### 緊急避難場所 兼 避難所

- ・緊急避難場所と避難所を兼ねている
- ・屋内

R3 改定後：福祉避難所はココの役割期待

→緊急的に避難する場であり、かつその後の避難生活もおくれる場

## 避難生活支援の場



### 避難所

- ・災害の危険性があり避難した住民等が、災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在
- ・災害により自宅へ戻れなくなった住民等が一時的に滞在
- ・屋内

R3 改定前：福祉避難所はココの役割期待

## 水平避難



どこへ？

- ・ 浸水が想定される高さより高い場所



どこから？

- ・ 川のそば
- ・ 浸水が深い地域

どこへ？

- ・ 浸水が想定されていない地域

- 1) 緊急避難場所
- 2) 親戚・知人宅
- 3) 宿泊施設

# いつ逃げる？

どこから？

- ・ 川のそばではない家・ビルの1階



# いつ逃げる？

## 避難のための警戒レベル

警戒レベル5は、  
すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待ってはいけません！**



避難勧告は廃止されます。  
これからは、  
**警戒レベル4避難指示で  
危険な場所から全員避難  
しましょう。**

避難に時間のかかる  
高齢者や障害のある人は、  
**警戒レベル3高齢者等避難で  
危険な場所から避難  
しましょう。**

警戒レベル	新たな避難情報等	
5	 <p>災害発生 又は切迫</p>	<p>さんきゅうあんぜんかくほ <b>緊急安全確保</b>※1</p>
<p>~~~~~&lt;警戒レベル4までに必ず避難！&gt;~~~~~</p>		
4	 <p>災害の おそれ高い</p>	<p>ひなんしじ <b>避難指示</b>※2</p>
3	 <p>災害の おそれあり</p>	<p>こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b>※3</p>
2	 <p>気象状況悪化</p>	<p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>
1	 <p>今後気象状況 悪化のおそれ</p>	<p>早期注意情報 (気象庁)</p>

新たな避難情報に関するポスター・チラシ<sup>24</sup>

避難情報

<p>命の危険</p>	<p>L V 5</p>	<p>直ちに 安全確保</p>	<p>→既に災害が発生している状況 →最善の避難行動を</p> <p>水平避難      垂直避難      緊急避難場所</p>
<p>「避難指示」 発令</p>	<p>L V 4</p>	<p>危険な場所 から 全員避難！</p>	<p>● 車等での避難は困難      ● 自宅上の階      ● 徒歩避難</p>
<p>「高齢者等 避難」 発令</p>	<p>L V 3</p>	<p>危険な場所 から 高齢者は 避難！</p>	<p>● 車等で区域外へ避難      ● 自宅上の階      ● 徒歩避難</p> 
<p>信濃川 早期 警戒情報</p>	<p>L V 2</p>	<p>自主避難</p>	<p>● 車等で区域外へ自主避難</p> 
<p>L V 1</p> <p>避難先の 決定</p>			<p>・避難行動判定フローに従う →ハザードマップによる①ハザード評価 ・家屋倒壊・河岸浸食エリアなら水平避難 →個人・世帯の状況に基づく②脆弱性評価 ・高齢者・障害者・乳幼児は早めに避難 ・車があるか、自宅は何階建てか</p>

長岡方式「避難情報による避難行動」

# 長岡版マイ・タイムライン 「わが家の防災タイムライン」を作成しよう!

中学生～  
大人用

## 1. 長岡方式の避難行動 (洪水災害のとき)

長岡市洪水ハザードマップ  
1ページを確認

信濃川のはんらんなどの大規模洪水災害時には、市が開設する緊急避難場所だけでは、自宅が浸水する全ての人を受け入れることができません。(予想では9万6千人分のスペースが不足することになります。)  
令和元年台風19号による全国的な大規模洪水災害で、命を落とした人の約7割は「逃げ遅れ」によるものでした。  
洪水災害の避難行動は、市が開設する緊急避難場所に逃げることだけではありません。自宅が安全なら、より上の階への避難も適切な避難行動です。早めの適切な避難行動は一人一人の命を守るだけでなく、緊急避難場所のスペース不足も解消します。



## 2. 川があふれると私の家はどうなる?

チェック! 長岡市洪水ハザードマップ



洪水ハザードマップの見方

詳細は、  
長岡市洪水ハザードマップ2ページを確認

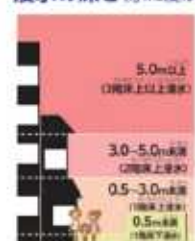
### 浸水想定区域

河川がはんらんした場合に浸水する最大の範囲と深さ(6色に分類)を表示

色	深さ
黄	0.5m未満
橙	0.5～3.0m未満
オレンジ	3.0～5.0m未満
赤	5.0～10.0m未満
赤紫	10.0～20.0m未満
紫	20.0m以上

川によって、水に浸かる深さや範囲が違う!  
※、「どの川があふれそうなのか」確認することも大切だね!

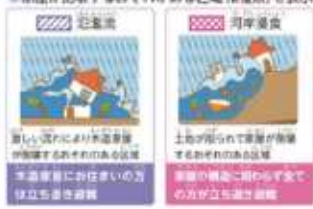
浸水の深さ(水に浸かる深さ)



ピンク色(3m～5m未満)だと、家の2階まで水に浸かるよ!

家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋が倒壊するおそれがある区域(2種類)を表示



川の側なら、自宅は危険かも。早めに安全な場所へ避難だね!

長岡市洪水ハザードマップを確認して、わかったことを書きましょう。

あふれると、自分の学区が水に浸かる川	川があふれると、自分の家や周りは、どのくらい浸水する?	住んでいる場所は、家がくずれたり、浸されたりしない? ※下の区域内に自分の家がある場合は、☑する。
川	m	<input type="checkbox"/> [浸水] 区域内 <input type="checkbox"/> [河岸浸食] 区域内
川	m	<input type="checkbox"/> [浸水] 区域内 <input type="checkbox"/> [河岸浸食] 区域内
川	m	<input type="checkbox"/> [浸水] 区域内 <input type="checkbox"/> [河岸浸食] 区域内

## 3. 自分の家の特徴を確認

- 車はありますか?  ある  ない ※ あり → 車で浸水しない場所に避難できる
- 川があふれた時、自宅の上の階は浸水しますか?  する  しない ※ しない → 自宅のより上の階に避難できる
- 災害時に受け入れてくれる知人や親せきがいますか?  いる  いない ※ いない → 市の緊急避難場所へ避難も検討

チェック! 避難に時間のかかる家族はいない?

台風が近づくころには、生きるために必要なものが売り切れで手に入らないこともあります。普段から「ものど心の準備が大切」です。家族全員で相談して、災害に備えましょう。

家族の名前	困ることや命を守るために必要な準備 例: 1人で逃げられない、けがや病気、車・車いす・ものがながい、大人の助けが必要、等	(メモ)

## 4. あなたと家族の避難行動は?

チェック! 「避難を判断する情報」を確認!  
【いつのタイミングで行動する?】かも考えよう。

学区が水に浸かる川	命を守るために、どのように行動しますか? ※自分と家族の行動に、☑する。
川	<input type="checkbox"/> 車で水に浸からない場所に避難 <input type="checkbox"/> 自宅のより上の階に避難 <input type="checkbox"/> 歩いて避難場所( )に避難
川	<input type="checkbox"/> 車で水に浸からない場所に避難 <input type="checkbox"/> 自宅のより上の階に避難 <input type="checkbox"/> 歩いて避難場所( )に避難
川	<input type="checkbox"/> 車で水に浸からない場所に避難 <input type="checkbox"/> 自宅のより上の階に避難 <input type="checkbox"/> 歩いて避難場所( )に避難

## 5. 洪水災害に備える！長岡版マイ・タイムライン「わが家の防災タイムライン」を作成しよう！

マイ・タイムラインって？

「マイ・タイムライン」とは水害に備えて、自分や家族のとるべき行動を整理し、時間ごとにまとめた「避難行動の計画」です。「いつ」「だれが」「どのような準備や行動をするか」を決めておくことで、いざという時も落ち着いて行動できます。



**チェック！** 川があふれた時の水の深さ、自分の家の特徴、情報を集めて、「家族全員が安全に避難するための準備や行動」を考えましょう。

年 組 番

氏名

信濃川の特徴 「長野県で降った大雨は約半日くらいかけて長岡や大河津にやってきます。（長岡：約9時間～11時間、大河津：約11時間～13時間）」

時間	2～3日前		1日前から当日		川のはんらん
気象情報	【警戒レベル1】 早期注意情報、台風情報	【警戒レベル2】 大雨・洪水注意情報	【警戒レベル3相当】 大雨・洪水警報		大雨特別警報
川の水位			はんらん注意水位に到達	はんらん危険水位に到達	はんらん発生
発表情報	注意かん起 信濃川早期警戒情報		3 高齢者等避難	4 避難指示	5 緊急安全確保
いつ・だれが・どのような準備や行動をしますか？	<p>● 確認すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>● 準備・行動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<p>● 確認すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>● 準備・行動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<p>● 確認すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>● 行動・(準備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>[非常用持ち出し品]</p>	<p>● 確認すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>● 行動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>[非常用持ち出し品]</p>	<p>注意：緊急安全確保は、必ず発令される情報ではありません。</p> <p>● 確認すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>● 行動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>⚠️ 状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すでに安全な避難ができて、命が危険な状況</li> </ul>
【参考】備えと行動の例	<p>● 確認すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の台風の進路やはんでいる場所と川の上流の雨の量、川の水位を調べる。</li> <li>・家の周りに風で飛ばされるようなものがないか確認する。</li> <li>・家で洪水ハザードマップを見て、自宅で安全確保できるか、避難場所や避難方法、避難経路を確認する。</li> <li>・家族の今後の予定を確認する。いざというときの連絡方法を確認する。</li> </ul> <p>● 準備・行動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常用持ち出し品や備え付け品を確認する。足りないものがあれば、買い直す。</li> <li>・避難経路を確認する。</li> <li>・車の燃料を満タンにする。</li> <li>・携帯電話を充電する。</li> <li>・病院で薬を多めにもらっておく。</li> </ul>	<p>● 確認すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常用持ち出し品を持ち出せるように準備する。</li> <li>・避難しやすい・危険に移動する。</li> <li>・家が上の階まで水に浸かる、または、家がくずれ、危険な場所に住んでいる場合、水に浸からない安全な場所に車を避難する。</li> <li>・立ち寄り避難をしない場合、車を水の浸からない場所に移動する。</li> </ul>	<p>● 確認すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡市の発表する避難情報や緊急避難場所の開設状況を確認する。</li> <li>・住んでいる場所の雨の量と川の水位を調べる。</li> </ul> <p>● 行動・(準備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険な場所にいる高齢者や障がい者などは、かい助をする人と避難する。</li> <li>・家族と連絡を取り合う。</li> <li>・緊急以外の予定は見合わせる。</li> <li>・危険な場所にいる全員が避難の準備をする。</li> <li>・自主的に避難を開始する。</li> </ul>	<p>● 確認すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡市の発表する避難情報や緊急避難場所の開設状況を確認する。</li> <li>・住んでいる場所の雨の量と川の水位を調べる。</li> </ul> <p>● 行動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険な場所から全員が避難する。</li> <li>・家族と連絡を取り合う。</li> </ul>	<p>● 確認すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害情報を確認する。</li> </ul> <p>● 行動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少しでも浸水しにくい高い所に移動するなど、命の危険が迫っているので直ちに身の安全を確保する。</li> </ul>
					<p>○ 避難情報・状況情報は こちら</p> <p>○ 長岡市緊急避難場所 の開設はこちら</p>

(表)

避難行動要支援者の「マイ・タイムライン」と「地域タイムライン」

作成日：令和2年7月29日

■災害への備えと個人情報使用の同意について

災害発生時に地域の支援者と安全に避難できるよう、「私に必要なこと」を理解してもらうため、私に関する情報を関係機関・者と共有することに同意します。

氏名 (自署)	松木 はな	性別	男 <input type="radio"/> 女 <input checked="" type="radio"/>	生年月日	昭和 *年10月10日	85歳
住所	兵庫県〇〇市〇〇町〇〇1丁目2番			電話番号	000-000-0000	
事業所名	ひょうのすけ相談室					
作成者	ケアマネジャー兵衛太郎					

災害リスクを知って「逃げるタイミング」を理解しましょう。地域で協力し、「誰ひとり取り残さない避難」へ。

■住まいに起こりうる災害は…ハザードマップで確認を！

<input type="checkbox"/> 住まい	建築時期	昭和50年 頃 月	構造	木造 鉄骨・鉄筋 平屋建て
<input type="checkbox"/> 洪水		浸水区域内 区域外	浸水深	1.2メートル
<input type="checkbox"/> 土砂災害		警戒区域内 区域外		



■ペットを飼っていますか  はい  いいえ

一緒に避難する チコちゃん (チワワ・メス10歳)

知人らに預ける ( 日 前)

■避難準備にかかる時間は？

<input checked="" type="checkbox"/> 家族らへの連絡	10分
<input checked="" type="checkbox"/> 持ち出し品の準備	15分
<input checked="" type="checkbox"/> 家の戸締まり	20分
計	45分

■どこに避難しますか

	■距離	■手段	■移動時間
<input checked="" type="checkbox"/> 避難先1	ふくし小学校	1.2km	車いす 30分
<input type="checkbox"/> 避難先2	岡山の娘宅	150km	車 120分

自宅の浸水しない場所 (2階以上など) →  手助けが必要  手助けは不要

<input checked="" type="checkbox"/> 避難先1へ必要な時間 (①+②)	計	75分
<input type="checkbox"/> 避難先2へ必要な時間 (①+③)	計	165分

■持ち物リスト

<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (小銭)	<input checked="" type="checkbox"/> マスク
<input checked="" type="checkbox"/> 保険証	<input checked="" type="checkbox"/> 手指消毒液
<input checked="" type="checkbox"/> 服用薬	<input checked="" type="checkbox"/> 体温計
<input checked="" type="checkbox"/> お薬手帳	<input checked="" type="checkbox"/> 石けん
<input type="checkbox"/> 携帯電話 (充電器も)	<input checked="" type="checkbox"/> 使い捨てビニール手袋
<input checked="" type="checkbox"/> 着替え	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> メガネ	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 入れ歯	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 補聴器	■自宅に必要な備え
<input checked="" type="checkbox"/> 車いす (借りる)	<input checked="" type="checkbox"/> 非常食 (4) 日分
<input checked="" type="checkbox"/> 杖・シルバーカー	<input checked="" type="checkbox"/> 飲料水 (4) 日分
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 懐中電灯 (電池も)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(表)

目安の時間	警戒レベル	私の行動	地域（支援者）の行動
3日前	●レベル1 早期注意情報 災害への心構えを高める	<input checked="" type="checkbox"/> 家の周りの点検と片付け <input checked="" type="checkbox"/> 気象情報の確認を始める (××川の様子も確認) <input checked="" type="checkbox"/> 避難先・避難経路の確認 <input checked="" type="checkbox"/> 水・食料・ <del>ガソリン</del> 服用薬などの準備 <input checked="" type="checkbox"/> 避難先(親戚、知人宅)に連絡 <input type="checkbox"/> ★娘宅(□□□-□□□-□□□□)に連絡 <input type="checkbox"/> 状況と迎えが可能なか確認する。 <input type="checkbox"/> ⇒迎えが可能な時は移動。地域支援者に避難先を伝える。	<input checked="" type="checkbox"/> 地区内の役割分担・連絡体制の確認 <input checked="" type="checkbox"/> 避難経路の状況確認 <input checked="" type="checkbox"/> 避難所の防災用品・備蓄品の確認 <input checked="" type="checkbox"/> 要支援者と支援者の予定を確認 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2日前 1日前 半日前	●レベル2 大雨・洪水注意報 避難行動を確認 大雨洪水警報等	<input checked="" type="checkbox"/> 気象情報の確認 <input checked="" type="checkbox"/> 避難経路の確認 (××川の様子も確認) <input checked="" type="checkbox"/> 非常用持ち出し袋の準備 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の支援者への連絡 <input type="checkbox"/> ★佐藤さん(○○○-○○○-○○○○) <input type="checkbox"/> ★老人会長(△△△-△△△-△△△△) <input type="checkbox"/> ★民生委員(×××-×××-××××) <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 要支援者の所在確認【誰が：佐藤家、老人会長】 <input checked="" type="checkbox"/> 避難所の開設確認【誰が：自治会長、老人会長】 <input checked="" type="checkbox"/> 要支援者に避難準備呼びかけ <input type="checkbox"/> 【誰が：佐藤家、老人会長、民生委員】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
7時間前	●レベル3	<input checked="" type="checkbox"/> 個別支援計画に沿って避難開始 <b>高齢者等は避難開始</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 要支援者に避難呼びかけ 【誰が：佐藤家、老人会長、自主防】 <input checked="" type="checkbox"/> 要支援者の避難誘導開始【誰が：佐藤家、自主防】
3時間前	●レベル4	<input type="checkbox"/> 危険な場所から避難 ★息子・娘へ避難先を伝える ・息子(◇◇◇-◇◇◇-◇◇◇◇)	<input type="checkbox"/>
0時間	●レベル5	<input type="checkbox"/> 命を守る行動を！ ・娘(□□□-□□□-□□□□)	<input type="checkbox"/>

■自由記述欄

※ここに示した警戒レベルなどのタイミングはあくまでも目安であり、実際の災害時とは異なります。防災・気象情報などを参考にしながら、状況に応じて早めに判断してください。  
 ※例1 (P.127-128)、例2 (P.129-130)のいずれかを作成することとしている。

## 個別避難計画の作成の努力義務化 (令和3年)

- 令和元年台風**19**号等の近年の災害においても、多くの高齢者や障害者等の方々が被害に遭われている状況を踏まえ、
- 災害時の避難支援等を実効性のあるものとするためには個別避難計画の作成が有効とされたことから、
- 令和3年の災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者について、個別避難計画を作成することが市町村の努力義務とされました

市町村

1. 庁内外における推進体制の整備、個別避難計画の作成・活用方針の検討

協力

2. 計画策定の優先度に基づき対象地区・対象者を選定

市町村

3. 福祉や医療関係者等に個別避難計画の意義や事例を説明

市町村


4. 批判支援者となる自主防災組織や地区住民に個別避難計画の意義や事例を説明

協力

5. 市町村における本人の基礎情報の収集、関係者との事前調整等

参画

6. 市町村、本人、家族、福祉や医療関係者による個別避難計画の作成

- 
- ・市町村や都道府県等が保有する情報を基に、個別避難計画に必要な情報を記入する
  - ・避難行動要支援者に制度の概要や記載事項等を説明し、計画作成に同意か確認する
  - ・避難行動要支援者本人の意向を確認する：「避難先」や「避難支援等実施者」等について
  - ・避難行動要支援者に個別避難計画情報の平常時の外部提供について同意か確認する\*
  - ・避難行動要支援者に個別避難計画（素案）の訂正、追記等を依頼する
  - ・福祉や医療関係者等\*が当事者と避難についての対話、意見交換する
  - ・関係者が一堂に会する地域調整会議を開催することが望ましい
  - ※ 自主防災組織や福祉専門職など関係者の参画が望ましい
  - ・本人の心身の状況等によっては、本人宅で情報共有、調整を行うことも考えられる
  - ・本人の意向を踏まえ、地域の関係者や施設管理者等と調整や検討を行う
  - ・必要事項を記入した個別避難計画を本人に確認してもらう
  - ・個別避難計画の作成完了

協力

7. 作成したら終わりではなく実効性を確保する取り組みを実施



# 個別避難計画策定の優先度

個別避難計画は、優先度が高い避難行動要支援者から作成することが適当

<考慮すべきポイント>

- ① 地域におけるハザードの状況（洪水・津波・土砂災害等の危険度の想定）
- ② 避難行動要支援者本人の心身の状況、情報取得や判断への支援が必要な程度
- ③ 独居等の居住実態、社会的孤立の状況

# 自主防災会長 初任者研修会

「自主防災活動を進める上  
での基礎知識」

令和3年10月3日  
中越市民防災安全士会

# 長岡市 自主防災会


## 1 【自主防災会組織結成状況】 令和3年8月1日

	自主防災組織数		長岡市の 世帯数	結成率
	組織数	属する世帯数		
長岡市	834	99,660	111,023	89.8%

(参考) 新潟県の平均結成率= 87.4% 全国平均 = 84.3%

## 2 【自主防災会の訓練実施率】 令和2年度

### 令和2年度実績

	組織数	報奨金支 払い組織	訓練 実施率
長岡市	833	499	59.9%

### 過去の実施率

H29年	H30	R 1
79.2%	79.7%	75.6%

## 3 【自主防災会長の任期】 非公式データ

約1.5年 (中越市民防災安全士会 自主防災会支援部 部員アンケート)

# 自主防災会が置かれた環境

## 災害の多発、激甚化

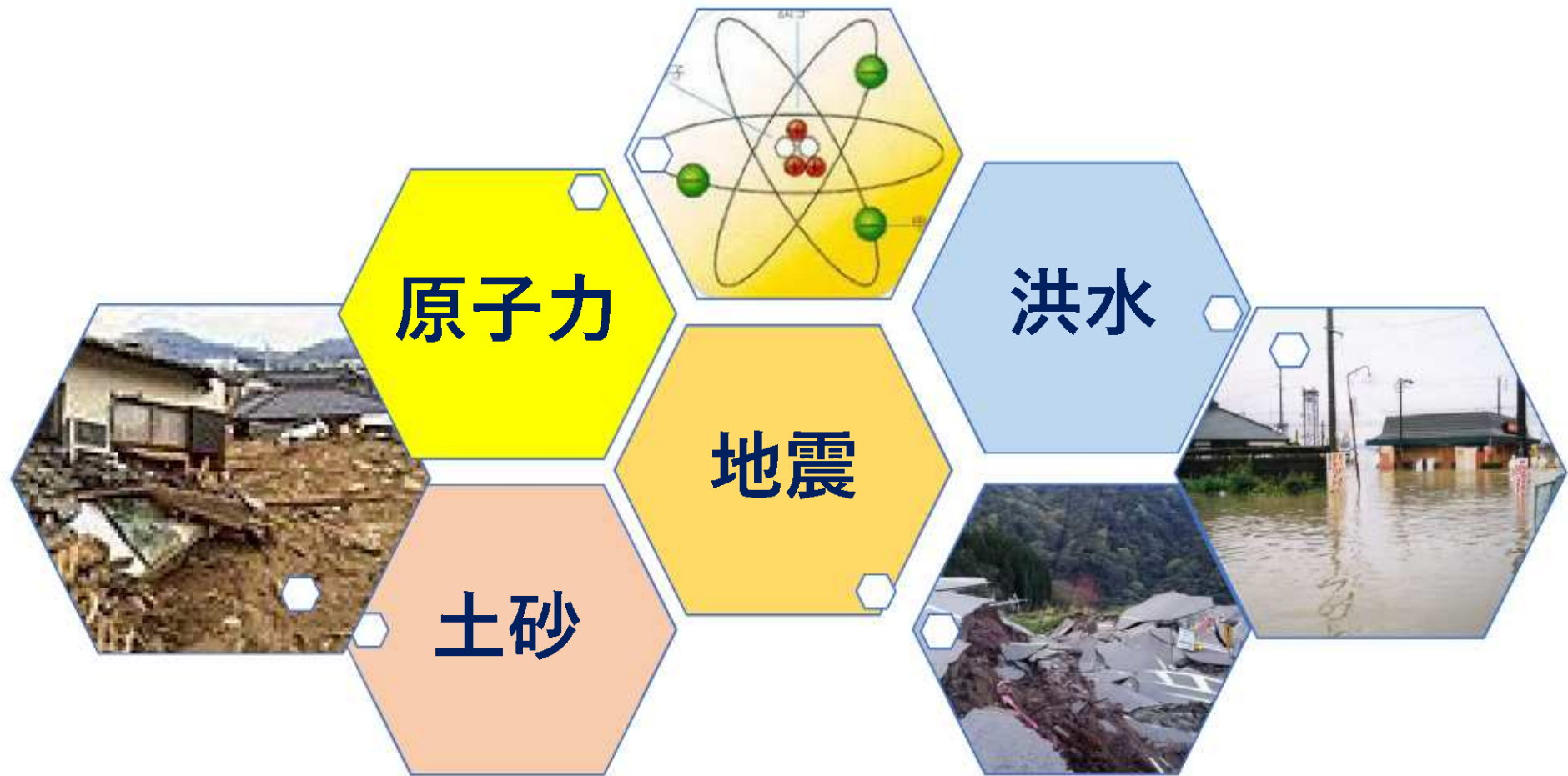
予測される巨大地震  
温暖化からの豪雨、土砂災害

## 高まる自主防災会への期待

防災会役員高齢化  
避難行動要支援者増加

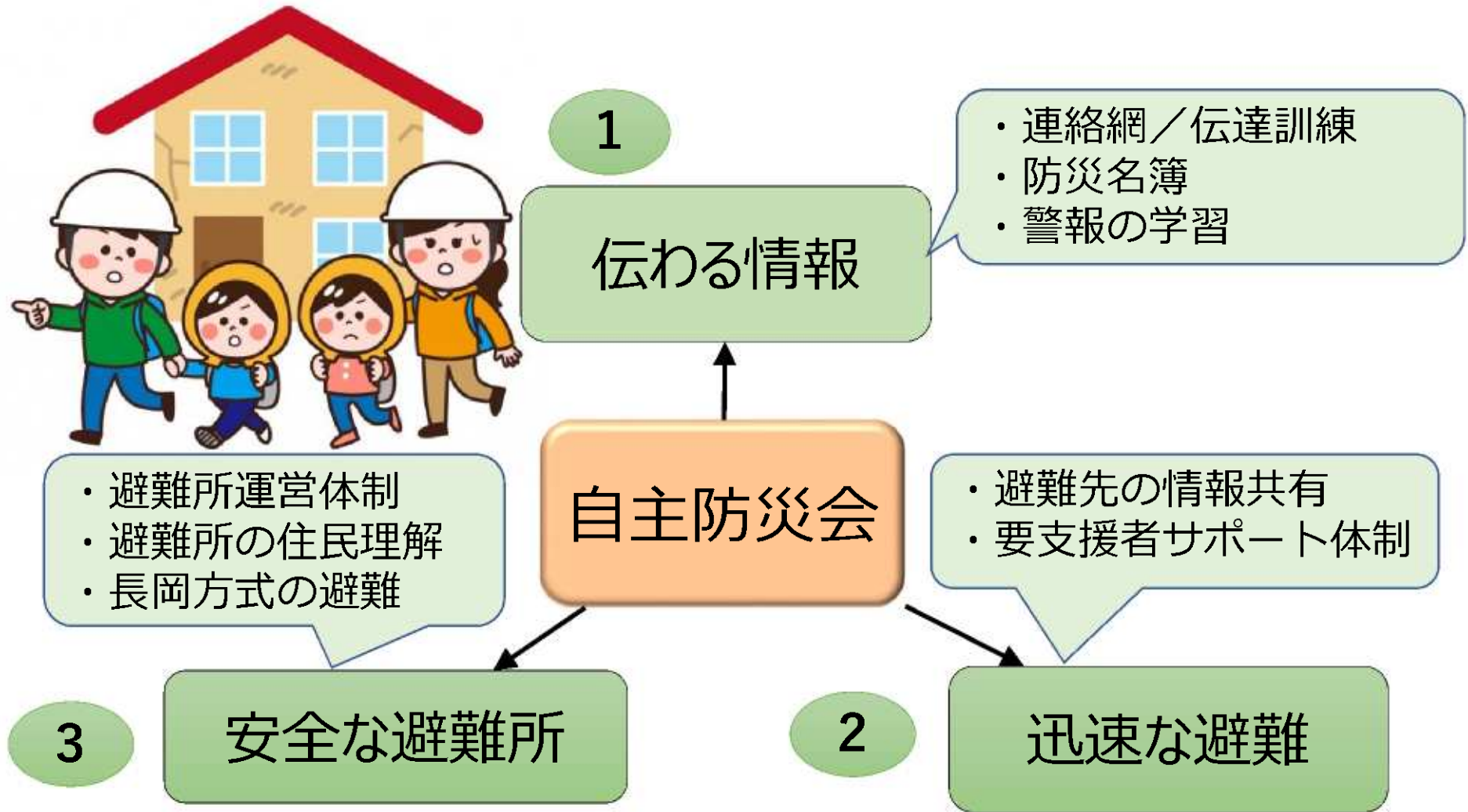
## 住民 高齢化

# 市民 取巻 様々 災害



地域は多くの災害に備えることが求められる

# 期待されている“防災の基本”



## 1

# 情報伝達の重要性と準備 (1)

## 行政依存ではいけない

防災情報の伝達は**市町村の重要な責務**であり、住民等の生命、身体の安全確保に直結する事であることから、確実に伝わる事が求められます。

しかし、災害の多発・激甚化により必ずしもタイムリーな避難情報が発令されるとは限りません。

### 防災・危機管理ニュース

今回もまた「避難指示が遅い！」という犯人探しが始まるのだろうか。

雨が降り始めてからの避難情報は遅すぎる

公益財団法人リバーフロント研究所/  
理事 技術参与 博士(工学) 土屋 信行

多くの行政では「災害情報」「避難情報」の伝達に工夫改善を進めています。 情報利用者であるあなたの地域では受けた情報の全住民へのタイムリーな伝達が可能ですか？

# 1 情報伝達の重要性と準備 (2)

## 独自の防災ネットワーク等で備える

朝日新聞デジタル > 記事

### 繰り返される豪雨の逃げ遅れ、避難情報はなぜ届きにくい

有料会員記事

神元敦司 2021年5月31日 13時00分

避難しなかった理由は「自宅・職場にいても安全だと思った」が65・4%と最も多かった。「避難した経験がなかった」(33・6%)、「近所の人も避難していなかった」(22・6%)が続いた。「警報や避難の情報を見聞きしたが、どうすればいいか分からなかった」という人もいた。

長岡市の自主防災会でも避難情報をLINEで発信し、共有し活動に活かす町内が増殖中です。

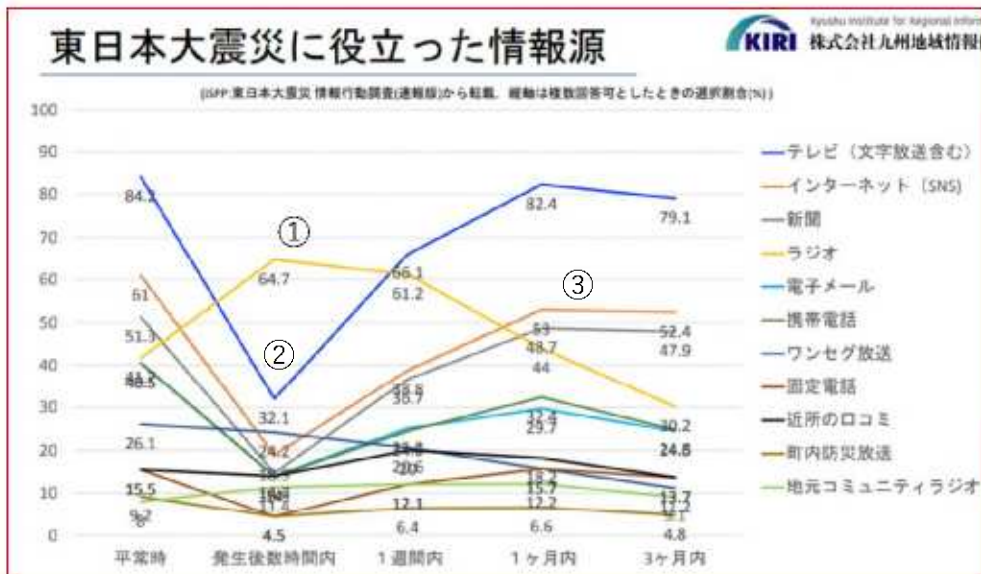
「避難を躊躇している住民」に何らかの働きかけが必要の様です。LINEを使い、躊躇している人、気付いていない人に働き掛ける仕組み作りと「訓練」が有効とされます。





# 1 情報伝達の重要性と準備 (3)

## 多くの情報ソースからの選択



- ① ラジオ
- ② テレビ
- ③ インターネット (SNS)



### 例えば

- ① 長岡市の防災ホームページから
- ② 「NHK ニュース・防災」アプリから
  - ◆プッシュ情報が得られる
  - ◆中小河川情報が見られる



設定した地域の情報が届く！

ライブカメラの設定も可能

## 2 迅速な避難をするために（1）

迅速な避難が困難なお隣さんは？

要配慮者と「避難行動要支援者」



## 2 迅速な避難をするために (2)

あなたの町の「要支援者対応」は？



・まずは防災会長による仕組みの理解

- ・個人情報への壁
- ・支援者、協力者の発掘

## 2

# 市から届く「要支援者名簿」 扱いに苦慮する町内会長も

令和3年度 長岡市避難行動要支援者名簿（同意者）

「町名：□○町内会」

番号	氏名	住所	担当町内	民生委員	消防団
	年齢	生年月日	状態		
	電話	性別	緊急連絡先		ラジオ配布
1	吉田栄作	長岡市□○1325	□○町内会	田中洋子	第◆分団
	92歳 S	3年7月1日	寝たきりB		
	0258-23-0987	男	吉田栄治	090-8887-0000	次男
					なし
2	石橋孝雄	長岡市□○1729	□○町内会	田中洋子	第◆分団
	84歳 S12	年8月31日	車いす		
	0258-22-0987	男	石橋とし子	025-2222-1111	長女
					なし

別紙「自主防災会で防災関連名簿を整備活用するには」等を参照

3

# 安全な避難所を目指して (1)

## 避難所の実態

- 狭い
- プライバシーなし
- ひどいトイレ環境
- 換気、冷暖房望み薄
- 偏りのある食事
- 眠れない

- コロナ感染防止策？
- 水没する避難所も多い
- 管理責任体制にムラあり
- ◇女性や子どもへの暴力や性被害



避難所

(新潟県中越地震、小千谷市 小千谷市総合体育館)

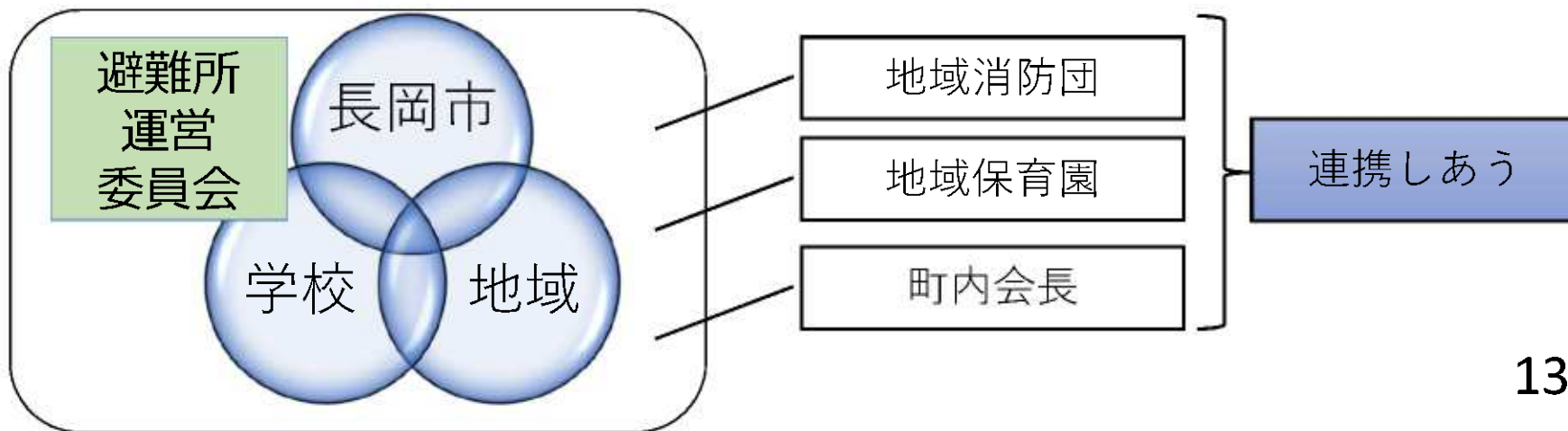
必ずしも「安全」「快適」な避難所ばかりではない

## 3

# 安全な避難所を目指して（2）

## 誰が避難所の運営をするのか

- 避難所は、「長岡市（職員）」、「学校（職員）」、「地域の防災リーダー（町内会長など）」の3者が協力して運営されます。（長岡市 指定避難所運営マニュアル）
- 避難所を運営する「組織」が「避難所運営委員会」で、三者協力して立上げ、運営します。
  - ・通常そのメンバーは
    - ◇「長岡市」： センター長、副センター長の他、数名の市役所職員
    - ◇「学校」： 校長、教頭に加え数名の防災系の職員
    - ◇「地域」： 避難所を利用すると目される町内の防災責任者あるいは防災スタッフ
- 町内会長や防災会長は災害時に避難所に詰められない事が多いので配慮必要。



## 3

# 安全な避難所を目指して（3）

## 避難所の運営の役割分担は？

- 災害の時に、役割を決めていたのでは混乱してしまいます。
- 学校職員、市の職員、そして地域の方々も異動や変更があります。  
年初に役割を決めましょう。

### 事例

組織	担当	主な仕事
本部	連合町内会会長	避難所全体運営指揮
施設部	校長	施設の安全確保
広報部	センター長（市）	本部との情報送受、情報収集伝達
物資部	地域防災委員	食料などの手配や受入れ、配給
衛生保健部	地域防災委員	避難所の清潔維持、衛生管理
名簿部	センター長（市）	避難所の名簿作成、避難者管理
救護部	地域防災委員	傷病者の応急手当

### 3 安全な避難所を目指して（4）

避難先は「避難所」のみならず

逃げ遅れゼロ

長岡方式の避難行動要点

早めに安全な場所に

可能であれば自宅2階に

地域の指定避難所に



「避難所に直行」をあらため、避難しやすい場所に分散避難しましょう。



## 4 防災会長初任者へのアドバイス(1) まず実施して欲しいこと

### 組織面の整備

- ①自主防災会を組織し、住民に対して年間数回の情報発信を行う。
- ②自主防災会長は3年以上同一人物にするとともに、防災委員も複数年従事してもらえる人を人選する。多少時間がかかっても規約を変えていく。
  - ・町内会長の宛て職としての防災会長で毎年変わることがない様に。
- ③近隣の自主防災会と連携が取れる様に働きかける。
  - ・協力して事にあたらないといけない局面多し。
  - ・訓練、学習会などは協力して実施した方が楽で、充実する。
- ④コロナ感染を理由に完全休眠状態にしない。
  - ・役員だけでできる訓練や学習会もあり。
  - ・住民に対して資料配布で防災の芽を残すことは可能。

## 4 防災会長初任者へのアドバイス(2) まず状況確認して欲しいこと

### 地域（町内）の特性を把握する

- ①今までの防災活動の引継ぎを行う
  - ・前任者はどこまで考え行動していたか？ やれたこと、積み残しは？
- ②今までの防災活動を自己評価する
  - ・災害のリスク（洪水被災の可能性、土砂災害に被災の履歴あり…）と今までの訓練内容がマッチしているかどうか。
  - ・住民の声に耳を傾ける。（あれはマンネリ、なぜうちは●●しない？）
- ③地域の変化を読み取る
  - ・10年前と比較し高齢者が増えているが、高齢者を視野に入れた訓練が無い？
  - ・町内会活動にも現役世代の参加が少ない。など、変化を求めているか。

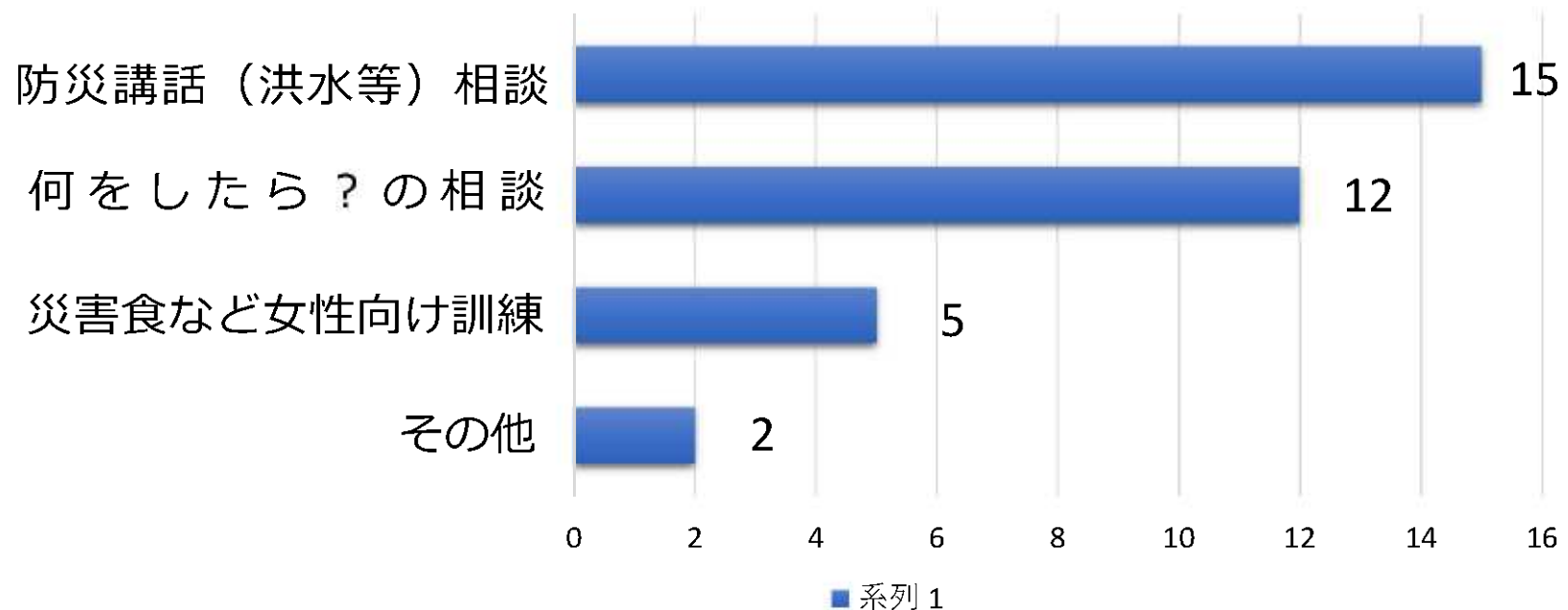
## 4 防災会長初任者へのアドバイス(3) まず検討して欲しいこと

### 孤立せず、チームで取り組む

- ①今までの活動の聞き取り
  - ・前任者も悩んだはず。 その前のリーダー達は？
  - ・隣接町内での取り組みを聞く。
  
- ②防災委員との話合い
  - ・防災委員とは一心同体。 気が合う仲間もいるはず。
  - ・防災委員は住民の代表でもある。 不満、提案を聞き出す。
  
- ③長岡市提供のサポートを受ける
  - ・毎年年度初めに提供される支援内容資料確認。
  - ・長岡市防災ホームページで「自主防災会」の内容を確認。
  - ・中越市民防災安全士会への「よろず相談」でヒントを得る。

## 4 防災会長初任者へのアドバイス(4) よろず相談の活用

### 令和2年度の相談内容



何から始めたらよいか？などの相談も歓迎します。

# 最後に

自主防災会組織化率は90%は超えているが、防災活動への参加率は10%という報告もあります。

住民の10%が防災リーダーの理解者、支援者です。

今までの活動ばかりに拘らず、住民の防災に関する感度を上げる活動に挑戦してみませんか。



- ・名簿整備は個人情報とかプライバシーとかで難しいのでは？
- ・そもそも名簿は何のために必要なの？
- ・避難行動要支援者の名簿が郵送されるが、個人情報なのに大丈夫？

## 1、まず、「自主防災会の役割」を再確認してみましょう

- ①自主防災会は災害時の住民の生命の確保、安全確保が目的です。  
その為の準備や災害発生時の様々な活動を行います。
- ②最近、高齢化の進展の中で「避難行動要支援者対応」など活動の幅が広がっています。
- ③町内での取組みとして「防犯」というものもあり、平時の住民安全に取り組んでいますが、防災は「災害発生時」の対応です。 原発事故など「事故対応」もありますね。

## 2、では、なぜ「災害時の住民名簿」や「要支援者名簿の活用」なのでしょう？

- ①住んでいる町が5軒とか10軒であれば名簿は不要かも知れませんが、人数が増えると「速やかに精度の高い」安否確認をするには「名簿」などチェックのための資料が必要となります。これが「災害対応名簿」です。
- ②また、避難行動要支援者名簿は災害時に文字通り「支援」をしてもらえる仕組みを用意する為に開示されている情報で、名簿の開示が目的ではありません。

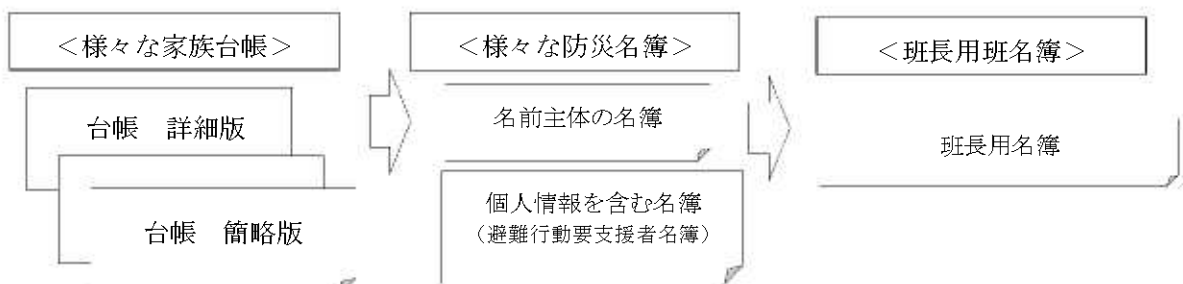
## 3、安否確認はどの様に行われるか？

- ①多くの町内では、災害時に住民の安否を確認するのは「班長」です。町内によって方法はまちまちですが、会長の指示により班長が自班の家庭を1軒ずつ回り、名簿に記載の住民が安全な状態にあるか、行方が不明かなどを確認し、結果を町内の防災本部に伝えます。
- ②安否確認の大切な役割は「不明～姿がみえず、行先が不明」な人の消息を掴むことです。 住民からの聞き取りや、必要に応じて探索を行うこととなります。
- ③避難行動要支援者には避難に関する警報が出た事を知らせ、避難を支援します。



## 4、様々な名簿と「名簿のための家族台帳」

- 名簿を作成するために「家族台帳」の提出を求める町内もあります。単なる氏名の情報に留まらず、「災害時に手助けが必要か」、「緊急の連絡先は」などの情報提供を依頼する地域もあります。
- 地域が台帳や名簿を使って何をやるかによって、夫々の情報の量が決まってきます。



・詳細データを求めれば町内会  
用としての活用も可能だが、情  
報管理のリスクは高まる。

・要支援者対応が出来ていな  
いのに「要支援者情報」を開示  
しないように。  
・台帳作成を省き、名簿作成に  
進む事も可能。

・むやみに多くの住民に開示す  
るのでなく、必要な人に必要な  
部分のみ提供する。

## 5、台帳や名簿を作成する際の注意事項

- 1) “個人情報保護法があるから名簿作りは無理”は「過剰反応」です。あわてずに考えましょう。
- ・個人情報保護法は「名簿情報の転売や外部流出などによる事故」を防止する狙いで制定されたもの。
  - ・名簿や台帳の目的や使用制限を説明し、本人の同意のもと集めた情報を活用します。

- 2) 個人情報保護法を尊重しながら必要な情報を集め、整備しましょう。

①個人情報保護法に則り、住民の個人情報を扱うための原則は以下の2点です。

- ・本人の意思尊重 ・それぞれ事情があります。情報を出さない選択肢もあります。
- ・情報の管理 ・漏えいしないよう、他の用途に使われない様、しっかり管理できる様にします。

②この原則の上に組み立てられた法令面での義務は下の5項目です。

1) 利用目的の特定	何に使うのか、情報取得の目的を明示。それ以外には使いません。
2) 適正な情報取得	側聞や推測、不正な手段で取得してはならない。本人から得る。
3) 情報の安全な管理	情報の漏えいを防ぐために一定の管理の仕組みが必要です。
4) 第三者への提供制限	本人の同意なく第三者に情報を提供しない。
5) 開示・改訂要請対応	本人から情報の開示要求や改訂の連絡あった場合は対応します。

③これらを踏まえ、名簿などの情報をどう扱うかを町内の「情報管理規程」などに表しましょう。

- 3) 「名簿」「台帳」は安全確保のためのツールである事の認識を！

- ・名簿作りは目的ではありません。どの様にそれらの情報を使うかにこだわり、訓練等行動等につなげましょう。



## 6) 全町内会長に回付されている「避難行動要支援者名簿」も一緒に考えよう！

- ・「避難行動要支援者名簿」は従来「秘匿」されるものでしたが、法令変更により、「支援する人」には名簿情報を開示することにより避難支援がスムーズに成される事が期待されています。
- ・市が提供する「避難行動要支援者名簿」は、行政が主体となって作成したものです。
- ・「避難行動要支援者名簿」の整備ができれば「要支援者をどう支援するか“個別計画”」策定が期待されています。
- ・要支援者名簿の情報を「災害対応名簿」に入れ、安否確認者と支援者が協力して避難支援を行います。

## < 困った時、疑問がある場合には相談して下さい >

私たち「中越市民防災安全士会」有志は名簿に関する皆様の相談に応じます。

- ・事務所に電話して下さい。 0258-77-3918 (事務所運営は月、水、木、金の9時～5時)
- ・電話で日程・場所そして相談内容を決め、別途打合せを行います。

●私たちは防災を学ぶ一般団体です。私達の学習の内容をベースにした相談対応であり、対応には限界があります。その場合はご容赦願います。